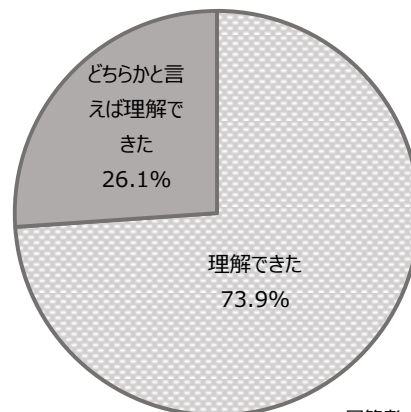


アンケート結果（勉強会メンバー）

地主会等勉強会（海からの那覇軍港視察）についてお聞きます。

Q1：今回の勉強会の内容について理解できましたか。

	回答数	構成比
理解できた	17	73.9%
どちらかと言えば理解できた	6	26.1%
どちらかと言えば理解できなかった	0	0.0%
理解できなかった	0	0.0%
無回答	3	-
計	26	100.0%



回答者：23 人

Q2：勉強会の内容で良かった点は何ですか。

- ☐ 戦前の垣花の説明は勉強になった。
- ☐ 垣花の歴史が少し分かった。
- ☐ 垣花の歴史について教えてもらったこと。
- ☐ 垣花の歴史が大まかに理解できた。
- ☐ 戦前を知る人が少なくなっている中、豊富な資料で昔の垣花を解説してくれたのは良かった。
- ☐ 昔の垣花集落の状況が少し理解でき、先代の状況が見えてきた。資料により充分理解できた。これまで毎回出席させてもらっているの、色々なメニューで良かった。
- ☐ 垣花の歴史がよく分かり良かった。私の祖母は垣花出身で尋常小学校の教師をしていた。私が 1 歳の時に他界し、顔しが覚えていないが今日この歴史を通し参加できた事大変良かったと思う。勉強になった。
- ☐ 過去の歴史から現在に至るまでの歴史について大変勉強になった。基本的な歴史を学ぶ事が今後合意形成に役立つと思う。
- ☐ 歴史を知ることは大切。今後も引き継げるようにしたい。
- ☐ 村の歴史を知ることで今後の跡地利用にも良い意味で繋がるのではないかな。
- ☐ 昔と現在の写真で分かりやすかった。池田先生のスピーチが良かった。
- ☐ 全体として良くまとまっていると思う。
- ☐ 資料を見ながら良かった。
- ☐ 親和会の会長の昔の風景の説明が非常に良かった。
- ☐ 海から現地を確認しながら勉強する（残念ながら悪天候で出港できなかったが）企画は良かった。めったにないチャンスだと考え、積極的に参加したくなった。
- ☐ パネルを使用し、理事並びに市職員の方で資料に基づいて詳細な説明は理解しやすく、垣花の歴史が学べて良かった。今後は土地の有効利用を研究してもらい地権者に知らせてほしい。
- ☐ 歴史を学べた。戦前の垣花の話を聞いて良かった。那覇市の取組みを聞いて良かった。池田先生の話を聞いて良かった。
- ☐ 池田先生の話が良かった。
- ☐ 跡地の現在までの取組みが分かった。
- ☐ 戦前からの説明（歴史、由緒ある町である理解）、合意形成全体計画 地主 1418 人面積 55.9ha、2028 年度又はその後返還可能、計画に基づく活動力が大切。返還後の跡地利用で地域の発展が望まれる。
- ☐ 全体計画の概要が分かったこと、歴史・人物について。
- ☐ 多くの地権者が参加していたこと。
- ☐ しっかりプレゼンも準備されていて良かった。又、現在計画がどのステージになっているか理解できた。
- ☐ 跡地について最初の計画からの経過の経緯の説明とこれからの組織としての進め方。
- ☐ 若い世代の知識づくり（子、孫の参加）、知識の習得。
- ☐ 内容は良かったと思う。

Q3：勉強会の内容で悪かった点は何ですか。

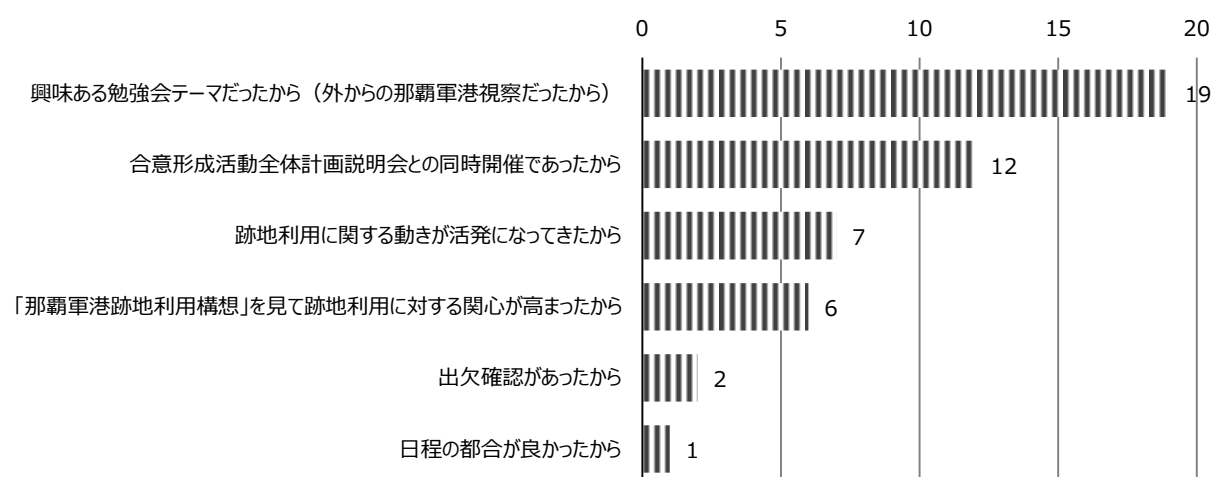
- ☐ 特にない。
- ☐ 今の所見当たらない。
- ☐ 天候。
- ☐ 海からの見学が出来なくて残念。
- ☐ 実際に海から軍港の見学ができるのを楽しみにしていただけに天気に恵まれず叶わなかったのは残念だった。
- ☐ 自然現象であるが、天候が悪くすごく残念。これだけは仕方ないこと。
- ☐ 那覇軍港をクルーズ船で見れなかったことが残念。もしできれば次回ぜひ船で軍港を見てみたいと思った。
- ☐ できれば天気にも恵まれて出港して欲しかった。
- ☐ 強いて言えば、後方席からスライド上映が見えにくかったことくらいだが、大したことではない。
- ☐ 返還日が分からない（決定日）、流動的。このため時代とまちづくりの差異があると思うので、進めるエネルギー薄れるのではないか。
- ☐ 軍港は移設計画が決まっていないと進まない。又浦添も受け入れると表明したが、実際の動きが不明である。浦添側の状況も知りたいのでそちら側の情報も少しでも入れた方が良いかも知れない。

Q4：今後の勉強会でテーマとして希望する内容があればお書きください。

- ☐ 定期的の説明会を今後もしてほしい。
- ☐ わからない所を知らせる努力をしてもらいたい。今後も勉強会を進めてもらいたい。
- ☐ これまで調査して頂いたモデル地を可能な限り地権者にも知らせてほしい。地権者を纏める事を研究願う。垣花が関連する近隣の（浦添等）状況も取り入れてほしい。
- ☐ 時代の需要に合わせて何を作るかを検討する必要があると思う。
- ☐ 開発に向けての地主側のまちづくり案があれば知りたい。
- ☐ 色々なテーマをもってできたらいいと思う。
- ☐ 跡地利用の様々な角度からの検証。地域に合った推進等。
- ☐ 那覇軍港の跡地をどのようなまちにするか。
- ☐ 県の所有している土地に対して県はどう考えているか、国の所有している土地に対して国はどう考えているか、市の所有している土地に対して市はどう考えているか。合意形成は住民だけを対象としているのか、その後県、国なのか、どのようにして？
- ☐ 今回のような説明会を軍港内でできたら。
- ☐ 今回のような勉強会をもっと多く。次回は軍港内に立ち入りしての施設見学できないか。
- ☐ 移行のステージの前後について理解できるよう話、説明をしてほしいと思う。
- ☐ 第2ステージに向けた（基本方針策定）勉強もそろそろ始めたら良いのではないか。
- ☐ 国有地になっている土地を全部あてて下さい。
- ☐ 地主の皆さまが合意できるような計画・知恵を出していただきたい。
- ☐ 役員で決めてほしい。
- ☐ マスタープランについて、池田先生の個々を大切に考える考え方に感銘した。
- ☐ これから勉強していきたい。
- ☐ 願わくば天候快晴の時に再度開催していただければ。

Q5：今回の地主会等勉強会に参加した理由は何ですか（いくつでも）

	回答数	構成比
興味ある勉強会テーマだったから（外からの那覇軍港視察だったから）	19	40.4%
合意形成活動全体計画説明会との同時開催であったから	12	25.5%
跡地利用に関する動きが活発になってきたから	7	14.9%
「那覇軍港跡地利用構想」を見て跡地利用に対する関心が高まったから	6	12.8%
出欠確認があったから	2	4.3%
日程の都合が良かったから	1	2.1%
その他	0	0.0%
無回答	4	-
計	51	100.0%



合意形成活動全体計画説明会についてお聞きます。

Q6：跡地のまちづくりの進め方について、本日の説明内容の他に聞きたい内容があればお書きください。

- ☐ 商業施設を呼ぶのか、M I C Eはどうするのか、那覇市は勉強会を出来るのか。
- ☐ スケジュール感（いつまで、平成〇〇年までに△△を決める）を確認しておきたい。作業内容（例えば基本方針の策定の流れ、フロー図）を確認しておきたい。
- ☐ 当時の地積と接收後の面積との内容を再度知りたい。
- ☐ 他場所の状況も取り入れた説明がほしい。
- ☐ 那覇軍港の移設先の浦添市の計画も知りたい。
- ☐ 共同利用で進めてほしい。
- ☐ 実際これから先 13 年後の返還が可能か主たる部門（防衛施設局、総合事務局等）の話が聞きたい。その際海上保安庁、海上自衛隊の継続使用の考えはあるのか。
- ☐ 地権者等に不利益を与えない内容を知りたい。55.9ha の跡地のため、国有地の有効利用を頑張って実現させてほしい。
- ☐ もっと勉強したいと思う。
- ☐ 今後勉強しましょう。

那覇軍港の跡地利用についてお聞きします。

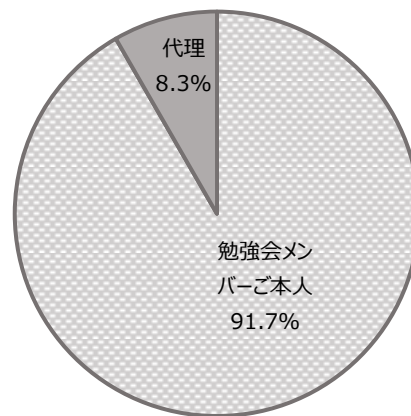
Q7：那覇軍港の跡地利用についてなど、ご意見ございましたらご記入ください。

- 上位計画（沖縄 21 世紀ビジョン、沖縄アジア経済戦略構想）における那覇軍港の位置付けは常に意識する必要がある、今後の勉強会ではその点おさえておくべき（勉強すべき）と考える。
- 次世代だけではなく、次の次の世代まで巻き込んできちんとマスタープランを組んでいってほしい。今回祖母が 90 歳で動きにくいいため参加した。私のような 30～40 代世代がほとんど見られないのが残念。又私は県外に住んでいるので参加が難しい。どうにか年に一度でも参加したいので、このような会の予定を早く知っておきたい。
- 土地を総合的に利用する区域、個人的に利用する区域。
- 現借地料収入が生活の一部なので共同で貸したい。
- 共同利用が出来ればいいと思う。
- 土地の価値向上について。
- ぜひ高付加価値のある跡地利用を考えてほしい。
- 県全体の発展に繋がる様に有益な利用方法を考えたい。
- 出来るだけ多くの方が参加できる方法を考えた方が良くと思う。
- 地権者が一体となるよう（土地組合等）研究願いたい。
- 地権者に跡地利用計画の実現に向けて関心を抱いてほしい。
- コンベンション関係及び大型ショッピングセンターがほしい。
- 多方面な専門家の意見を聞きたい。

あなた自身についてお聞きします。

Q8：あなたは勉強会メンバーご本人様ですか。

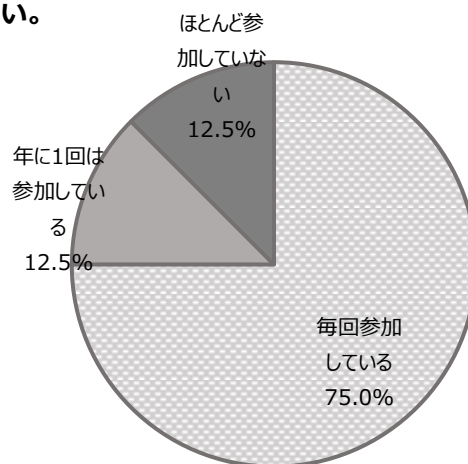
	回答数	構成比
勉強会メンバーご本人	22	91.7%
代理	2	8.3%
無回答	2	-
計	26	100.0%



回答者：24 人

Q9：これまでの地主会等勉強会への参加頻度を教えて下さい。

	回答数	構成比
毎回参加している	18	75.0%
年に 1 回は参加している	3	12.5%
ほとんど参加していない	3	12.5%
無回答	2	-
計	26	100.0%



回答者：24 人